

企画教育委員会記録

1 日 時 令和4年6月17日(金)
午前 9時59分 開会
午前11時48分 閉会

2 場 所 第2委員会室

3 出席委員

委員長	越 智 克 範	副委員長	小 野 辰 夫
委員	片 平 恵 美	委員	神 野 恭 多
委員	篠 原 茂	委員	藤 原 雅 彦
委員	大 條 雅 久	委員	伊 藤 優 子
委員	山 本 健十郎		

4 欠席委員

なし

5 説明のため出席した者

副市長 原 一 之

企画部

部長 亀 井 利 行 総括次長(総合政策課長) 加 地 和 弘

文化スポーツ局長 佐 薙 博 幸 ICT戦略課長 西 原 誠

財政課長 藤 田 英 友 シティプロモーション推進課長 鈴 木 今 日 子

文化振興課長 中 沢 美 由 紀 シティプロモーション推進課主幹 高 橋 憲 介

総務部

部長 高 橋 正 弥 総括次長(人事課長) 高 橋 聡

契約課長 松 平 幸 人

教育委員会事務局

教育長 高 橋 良 光 事務局長 木 俵 浩 毅

総括次長(社会教育課長) 竹 林 栄 一 学校教育課長 須 藤 充 史

学校給食課長 沢 田 友 子 学校教育課指導主幹 守 谷 憲 二

消防本部

警防課長 伊 藤 英 知

6 委員外議員

なし

7 議会事務局職員出席者

事務局局長 高 橋 利 光 議事課主査 村 上 佳 史

8 本日の会議に付した事件

(1) 付託案件審査

議案第43号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第1号）

議案第44号 財産の取得について

議案第45号 財産の取得について

議案第46号 財産の取得について

議案第47号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

請願第2号 インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出方について

(2) 閉会中の常任委員会開催について

(3) 市民との意見交換会について

(4) 行政視察について

9 会議の概要

○ 開 会 午前 9時59分

●越智委員長：〈開会挨拶〉

○原副市長：〈挨拶〉

○総務部関係（総務部その他関係者）

◇議案第44号 財産の取得について

○松平契約課長：〈説明〉

○沢田学校給食課長：〈説明〉

〈質 疑〉

●小野副委員長：これら全ての機器の耐用年数は10年になるのか。

○沢田学校給食課長：耐用年数は10年である。

●小野副委員長：落札者は松山の業者であるが、市内業者はいないのか。

○松平契約課長：一般競争入札で、ほかに応札を行った残りの2者は市内業者であったが、落札したのは松山の業者となった。

●神野委員：まず、一般競争入札とのことだが、指名競争入札にはできなかったのか。また、予定価格は幾らだったのか。また、現在は半導体不足などで物がなかなか入らないと思うが、納期はいつなのか。

○松平契約課長：契約については、一般競争入札が原則である。財産の買入れについて、高額なものについては、国、県ともに一般競争入札で実施している。本市も平成22年4月1日から適用している新居浜市役務の提供等に係る契約に関する事務取扱要綱で入札等の事務に必要な事項を定め、一般競争入札を原則としている。次に、予定価格は税込みで3,613万7,200円、納期については8月末となっている。

●大條委員：一般競争入札が原則というのは当然だと思うが、その中で、建設や購入に関しても、指名競争の金額的な基準があるにしろ、市内業者を意識して進めてきたわけである。物品購入の場合の一般競争入札にするか指名競争にするのかという判断の境は幾らか。

○松平契約課長：基本的に予定価格2,000万円以上の物品については、一般競争入札と考えている。

●大條委員：今回購入する炊飯ライン一式は、1日に何食まで対応できるのか。また、従来のものと比較して機能的には変わるのか。

○沢田学校給食課長：1時間に7キログラム炊きの炊飯釜50釜を調理できる能力があり、4,000食

に対応できる。今回の機器の更新により、炊飯器本体は断熱構造になり、機器表面の温度上昇が抑制され、外に熱が逃げないため、炊飯室内の作業環境が改善され、調理員の負担も軽減される。また、鋳物のバーナーからステンレスバーナーに代わるため、ガス消費量が抑えられ、二酸化炭素の排出量も削減される。

●大條委員：現行の給食センターと新しく建設する給食センターの2カ所で市内の児童生徒の食事を賄うには、能力的には十分ということか。

○沢田学校給食課長：新しく小学校が入ってくると、全部で3,400食程度の調理になる。現在は中学校と特別支援学校、泉川小学校の米飯を炊いており、能力は十分である。

●藤原委員：今現在の炊飯ラインはどこから購入したものか。

○沢田学校給食課長：株式会社アイホーというメーカーの炊飯ラインである。

●藤原委員：会社はどこにあるのか。

○沢田学校給食課長：愛知県の業務用厨房機器メーカーである。

●山本委員：一般競争入札だからしょうがないところもあるのだが、この種の入札には地元業者があまり入っていない。地元業者2者が応札しているということは、地元業者でやれないことはないのだろうが、地元業者に対応できる能力はあるのかどうか。また、新居浜市に登録している業者は何社程度あるのか。

○松平契約課長：落札した四国厨房株式会社は、松山市に本店を有する法人で、厨房機器、ガス器具、その他厨房機器を扱う事業者で、先ほど説明のあったアイホーの四国総代理店となっているため、能力は十分に有していると考えている。地元業者で、今回の厨房機器の取扱いが可能と思われる参加登録事業者は4社ほどある。なお、応札した市内の2社の能力は十分にありと考えている。

< 討 論 > な し

< 採 決 > 全会一致 原案可決

◇議案第45号 財産の取得について

○松平契約課長：<説明>

○沢田学校給食課長：<説明>

< 質 疑 >

●神野委員：まず、予定価格は幾らか。また、応札された3者は大手の三浦工業と市内の中小企業2社であり、同じ土俵で戦うと金額差が出てしまうため、例えば中身を分けて2,000万円以下にすることで、指名競争入札にすることは考えなかったのか。

○松平契約課長：予定価格については、税込みで3,080万2,860円とした。また、いたずらに分割発注すべきではないとの考えから、一般競争入札とさせていただいた。

●小野副委員長：耐用年数が12年ということだが、故障などでのアフターフォローは12年間できるものか。

○沢田学校給食課長：今回の機器の保証期間は、引渡しから1年となっているが、現在、年に3回行っているボイラーの保守点検の中で対応していきたいと考えている。

●藤原委員：先ほどの炊飯ラインとこの蒸気ボイラーは、おそらく開業時から使用しての更新だと思うが、今後、これ以外に老朽化等により更新しなければならない機器はどれくらいあるのか。

○沢田学校給食課長：コンテナ洗浄機やスライサー、ピーラー、消毒保管器などがあり、三、四年をかけて更新していきたいと考えている。

< 討 論 > な し

< 採 決 > 全会一致 原案可決

◇議案第46号 財産の取得について

○松平契約課長：＜説明＞

○伊藤警防課長：＜説明＞

＜質 疑＞

●伊藤委員：災害対応特殊救急自動車は新居浜市に何台あるのか。

○伊藤警防課長：災害対応特殊救急自動車とは、緊急消防援助隊登録車両のことで、新居浜市においては、救急車1台を登録している。緊急消防援助隊の補助メニューの中でこのような名称となっているが、現在市で所有している6台の高規格救急車と同等のものとなっている。

●大條委員：応札は2社しかなかったのか。何か理由はあるのか。

○松平契約課長：応札があったのは愛媛トヨタ自動車株式会社西条・新居浜店とトヨタの代理店である株式会社新日本ライフテックで、今回は救急車のシャシーであるので、自動車取扱い関連業者の応札となった。

●藤原委員：トヨタというと一般乗用車という認識があるが、今回落札した愛媛トヨタ自動車株式会社には緊急車両の納入実績はあるのか。

○松平契約課長：本市では平成26年度に救急車の納入実績があり、県内自治体でも多数の納入実績がある。

●片平委員：災害対応特殊救急自動車は、高規格救急自動車と中身は同じものになるのか。

○伊藤警防課長：中身は同じものである。

●藤原委員：今回、取得価格は2,420万円ということで、高規格救急車は1台3,000万円ということを知ったことがあるが、安くなったということか。

○伊藤警防課長：今回の契約については、車体本体であり、高度救命処置の資機材は別となる。

＜討 論＞ な し

＜採 決＞ 全会一致 原案可決

休憩 午前10時27分／再開 午前10時29分

○予算議案（企画部その他関係者）

◇議案第43号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第1号）

○藤田財政課長：＜説明＞

○竹林教育委員会事務局総括次長（社会教育課長）：＜説明＞

＜質 疑＞

●神野委員：歳入として保育所等整備交付金については、次年度に繰り越すことができるのか。次に、中学校サポートルーム設置事業費について、昨年、他市でモデル的に実施し、ようやく新居浜に来たなという感じだが、先生などの予算は別につくのか。

○藤田財政課長：保育所等整備交付金については、単年度という形で年度末までに執行する必要がある。

○須藤学校教育課長：サポートルームに配置される登校ナビゲーターの先生、ICT支援員については、県費である。

●神野委員：保育所等整備交付金は、単年度決裁ということで、見積もりと額があっていないという話を伺ったが、金額の変更はできるようなものではないのか。

○藤田財政課長：金額の変更は原則として認められていないので、事業者負担になっている。

- 大條委員：中学校サポートルーム設置事業費について、中萩中学校内の教室を使うということか。不登校対策の中で、学校の教室をどのように使われるのか。
- 須藤学校教育課長：中萩中学校の空き教室を利用して不登校支援のためのサポートルームを設置している。指導者として、本事業費とは別に愛媛県による登校ナビゲーターとしての専任の教員1名とICT支援員1名が配置されている。登校ナビゲーターは、不登校生徒の個別指導計画を策定し、ICT支援員や学級担任、生徒指導主事、養護教諭、スクールカウンセラー等と連携して、生徒への電話連絡や家庭訪問、通級生徒への学習指導、教育相談等の支援を行っている。ICT支援員は、オンラインでの家庭学習の支援やオンライン教材の研究、家庭訪問などで登校ナビゲーターとともに通級生徒への学習指導を行っている。
- 大條委員：従来の保健室登校と言われた生徒の受け教室を独自に作るというイメージでよろしいか。
- 須藤学校教育課長：そのようなイメージで構わない。
- 伊藤委員：中萩中学校が選定されたのは、中萩中学校で不登校が多いということなのか、どういう理由で中萩中学校に決まったのか。また、このサポートルームは、これからほかの学校に波及していくのか。
- 須藤学校教育課長：まず、中萩中学校が選定された理由については、昨年度、愛媛県から希望調査があり、サポートルーム設置を希望した市内の8中学校の中で、中萩中学校は1、2年生の支援対象の不登校生徒が最も多い状況から、選定された。本事業は、今後2年間であるが、ほかの学校では、別室登校している生徒に対して、教職員がこのノウハウを伝えていくことになるが、各学校で中萩中学校の取組や成果について学ぶことで、各学校でサポートルームのような事業を展開していくことが目標である。
- 片平委員：中萩の取組はまだ始まったばかりで、トントン拍子にうまくいくとは思っていないが、今のところ出てきた成果の芽があれば教えていただきたい。また、県費の先生が来てサポートルームをやっていると思うが、中萩中学校のほかの先生たちはどういう関わり方をサポートルームにさせているのかを教えていただきたい。
- 守谷学校教育課指導主幹：ほかの先生方は、空いた時間に顔を出したりして、話や声掛けをしたり、自分のクラスの子供だけではなくいろんな先生方が関わることで、子供がたくさんの先生とのつながりを持てるようにしている。ただ中心となって関わるのは、ナビゲーターの先生とICT支援員の先生となるが、子供たちの様子等については、学校全体で情報共有している。次に、成果については、日によって異なるが、3年生を中心に5名程度がサポートルームに来ることができている。また、去年までは学校に足を運びにくかった子供もサポートルームができたことで登校の回数も増えている。今のところは3年生中心であるが、施設面が充実し始めると2年生や1年生にもつながりを持って行こうと考えている。
- 山本委員：一般質問の教育長の答弁から、小中学校全体で不登校生徒はかなり多い印象を受けた。県の要請もあり、今年の中萩中学校だけに設置するという話だが、中萩校区はほかの校区と比べると問題があるのか。
- 高橋教育長：中萩だけが突出して多いとか、学校に問題があるから不登校が多いということではない。昨年度に8校の希望があり、昨年度の1、2年生の状況を勘案し、今年度から開始するには、中萩が一番適しているということで設定した。新居浜市内の不登校生徒数は、令和2年度が171人、令和3年度が178人で、中萩だけが突出して多いということではない。最近の不登校というのは、怠惰による不登校はほとんどなく、非行での不登校も少ない。友達関係がうまくいかなくて行きづらくなる場合もあれば、その子自身の持っている性格の傾向から行きづらくなる場合もあるなど、複雑で一つに決められないことが今の不登校の特徴である。その中でも、自己肯定感が低い子供が多いと感じており、それが友

達関係、勉強のことや部活、家庭の要因など、様々なきっかけで自信を失ったりするところも不登校の現状としては多いと感じている。決して、中萩に特別問題があってということではない。

●山本委員：財政調整基金繰入金について、補正前の額の7億5,941万8,000円が財政調整基金の残高の金額か。今後、財政調整基金は30億円程度必要という話だったが、どのような形で基金を積み増ししていくのか。

○藤田財政課長：7億5,941万8,000円は、令和4年度当初予算の全体事業費に対して必要な繰入額であり、残高ではない。財政調整基金の残高は、令和3年度末で約17億円であり、取り崩しを含めると、予算の見込み上では、10億円を下回る状況である。30億円というのは、平成16年災害のときに、起債や国庫補助が入る前に必要な財源が約30億円ということで、今まで30億円を目標としてきた。今後どのように財政調整基金を増やしていくかについては、無駄な事業やランニングコストの削減と国庫補助や有利な起債の利用などによる財源確保が必要と考えている。

●藤原委員：財政調整基金については、平成16年災害時に基づいて30億円といわれたが、約20年も前の話である。財政調整基金の目標額を35億円、40億円とかもう少し上げていかなければと思うが認識はどうか。

○藤田財政課長：藤原委員の言うとおおり、鋼材価格や物価高騰もあるので、30億円の目標から増やしていく必要はあると思うが、今現在10億円を下回るような形であり、まずは30億円を目指して努力しないと、40億円、50億円を目指したいということと言えないと思うため、まずは30億円を目標と考えている。

< 討 論 > な し

< 採 決 > 全会一致 原案可決

◇議案第47号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

○藤田財政課長：<説明>

○竹林教育委員会事務局総括次長（社会教育課長）：<説明>

<質 疑>

●神野委員：デジタル田園都市国家構想推進交付金について、基本的には行政側から国に申請を出すものか、それとも民間からでも可能なのか。また、今後もこういう交付金はあるのか。次に、移動デジタル行政サービス推進事業費について、マルチタスク車両の整備における移動期日前投票所としての活用とあり、昨日の藤田誠一議員に対する答弁と整合が取れないと思うが、そういう予定があると受け止めていいのか。

○加地企画部総括次長（総合政策課長）：まず、対象は地方公共団体のみとなる。次に、マルチタスク車両は、11月に納車を考えており、移動期日前投票所としての活用については決定はしていないが、知事選から活用することも可能ではないかと思う。次に今後については、現在の交付金はタイプ1という他市の事例を使った交付金であり、タイプ2、タイプ3という交付金もあるが、そちらはなかなかハードな交付のシステムになろうかと思う。

●大條委員：移動デジタル行政サービス推進事業費のマルチタスク車両は、どのくらいのサイズで、どういう機能を備えているのか。

○加地企画部総括次長（総合政策課長）：車種としては、ハイエースを想定している。機能としては、オンライン相談やマイナンバーの申請受付ができる装備を備えたり、期日前投票などにも対応できるような形を想定している。

●片平委員：個人番号カードに関することだが、健康保険証としての利用ということで動いていると思うが、健康保険証として使うには、医療機関が利用するためのシステムを導入しないといけないも

のなのか。

○加地企画部総括次長（総合政策課長）：マイナンバーカードには、健康保険証の利用登録ができるが、健康保険証として使うには、医療機関でそれを受ける端末がないとできない。

●片平委員：端末は高額なものなのか。

○加地企画部総括次長（総合政策課長）：金額は把握していないが、市内でも大きな病院は、既に導入されていると聞いている。

●片平委員：端末がないような小さい病院で健康保険証として使おうとした場合はどうなるのか。

○加地企画部総括次長（総合政策課長）：通常の保険証を利用することになる。

<質 疑> な し

<討 論> な し

<採 決> 全会一致 原案可決

休憩 午前11時14分／再開 午前11時21分

○ 青原 頁 ・ 陳情 関係

◇ 請願第2号 インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出方について

<意見・討論>

●小野副委員長：インボイス制度については、税の公平性を考えると導入すべきだと考えるが、今現在のコロナ禍の経済状況や中小企業などへの影響等、様子を見る必要があると思うため、現在は継続審査としていただきたいと思います。

●片平委員：中小企業の経営のことを考えてこの請願を出されていると思うので、私としては採択でお願いしたいと思うが、継続するに当たっては、請願書を出されている方の考え方と各委員の頭の中にある、もらった税金だから払わないと公平でないという考え方との間で溝があると思うので説明する機会を持っていただきたいと思います。私の意見としては採択である。

●大條委員：現インボイス制度を含めて、消費税の仕組みを推進している党の意向に賛成している。昨日の質問の際に判決事例を話していたが、あの判決には続きがあったはずであるが、結論としては、小野副委員長が言われたように、消費税の負担者は消費者であるので、途中で国に納められなくなるということは極力避けるべきで、納入の公平性を保つためにはインボイス制度は一つの有効なシステムだと思う。採決をとということであれば、これ以上延期をするかどうかは疑問であるが、小野副委員長が言っていた様子を見るということで、この請願については継続審査としたい。

<採 決> 賛成多数 継続審査

休憩 午前11時25分／再開 午前11時28分

(2) 閉会中の常任委員会開催について

●越智委員長：5月17日に開催された委員長会において、今年度においても、昨年度と同様、所管課から状況報告等を受ける場として、閉会中の委員会を開催することに決定した。開催月については、委員会によって案件等の状況が異なることから、各委員会で判断することとなった。なお、正式な委員会として開催することに伴い、請願や陳情等で継続審査となっている案件があれば、閉会中の委員会において審査をすることになる。

●越智委員長：まず、候補日として、8月8日、9日で考えているが、都合はどうか。

(異議なし)

- 越智委員長：調査項目について希望はあるか。
- 大條委員：教育委員会のトイレの洋式化については、洋式化でも工事の内容が学校によって変わってくるので、現場を見ることも一つだと思う。
- 伊藤委員：先ほどの議案審査の中で不登校の問題があったが、中萩中学校のサポートルームや不登校の現状を聞くのもいいのではないか。
- 片平委員：この近辺において発達支援センターを早くから始めているのが今治であるが、今治のひよこ園を見に行き、発達支援センターのイメージを共有したらいいのではないか。
- 越智委員長：調査項目については、6月24日までに私もしくは担当書記まで提出し、その後、正副委員長において調整、決定するというところで、一任いただけるか。
(異議なし)

(3) 市民との意見交換会について

- 越智委員長：6月7日の委員長会で議会運営委員長から昨年度と同じ形式で開催するとの説明があった。8月4日の議会運営委員会で、意見交換するテーマと団体を報告することとなっている。本日はそれに向けて、テーマや団体について協議したいと思うが、意見等はないか。
- 小野副委員長：18歳から投票権が出てきたが、市議会議員選挙も含めて低投票率となっている。投票率アップのためにどうすればいいのかを各高校の生徒会長や副会長などに参加してもらい、ディスカッションしてはどうか。人数によっては、ほかの団体にも参加してもらうことを検討してはどうか。
- 神野委員：毎年少し硬い内容が多い中で、民間と腹を割って話すようなテーマ、例えば性的マイノリティなどの今までと方向性ががらりと変えるような内容は、私たちも勉強になると思う。
- 大條委員：多様性について学ぶというのであれば、話をしていただける方を探す必要もあると思う。また、小野副委員長が提案された18歳の投票率については、投票率に限らず契約関係もテーマにできると思う。高校の3年間は大人になる直前の大事な時期であり、大人の責任ということも含めて、世代を超えて話し合えるような形を考えられたら、多様性もいいのではないかなと思う。高校生と話をするのであれば投票率だけに限らないほうがいいのではないかなと思う。
- 越智委員長：高校生だけでなく、大人も呼ばないといけないのではないか。
- 伊藤委員：PTAはどうか。
- 神野委員：私たち議員が大人の立場であるから、議員と高校生の対話でいいと思う。
- 越智委員長：それでは一旦持ち帰りいただき、行政視察のときに再度協議し、決定したい。その際には、意見交換する団体も決定したいので、それまでに各自ご検討をお願いします。

(3) 行政視察について

- 越智委員長：日程は、7月26日(火)から29日(金)までの3泊4日で、研修先及び研修項目については配付の資料のとおりである。この内容で実施してよいか。
[異議なし]
- 越智委員長：それでは、この内容で決定するが、諸般の事情により変更が生じた場合は、委員長に御一任いただきたい。

○ 閉 会 午前11時48分

企画教育委員会付託案件表

令和4年6月17日

○総務部関係（総務部その他関係者）

議案第44号 財産の取得について

議案第45号 財産の取得について

議案第46号 財産の取得について

○予算議案（企画部その他関係者）

議案第43号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第1号）

第1表 歳入歳出予算補正中	ページ
歳入 全部	4・10~16
歳出 第2款 総務費	
第1項 総務管理費	
5目 企画費	5・17
第10款 教育費	5・27
第3表 地方債補正 変更	7

議案第47号 令和4年度新居浜市一般会計補正予算（第2号）

第1表 歳入歳出予算補正中	
歳入 全部	4・10~14
歳出 第2款 総務費（第3項 戸籍住民基本台帳費を除く）	5・15・16
第10款 教育費	5・6・26~29
第2表 地方債補正 変更	7

○請願・陳情関係

請願第2号 インボイス制度の実施中止を求める意見書の提出方について